

ひのき工房便り

VOL. 165

2023.03.01

トルコ・シリア地震への緊急募金のお願い

トルコ南部カフラマンマラシュ県で2月6日午前4時17分（日本時間同日午前10時17分）、大地震が発生し、その後もマグニチュード6から7クラスの大規模地震が相次ぎました。

この大規模な地震で、隣接するシリアと合わせて両国で4万人以上の死亡が確認され、被災地では厳しい寒さの中、懸命の救助活動が続いています。

被災者への支援として、きょうされんから緊急募金の要請がございました。

皆さんのできる範囲で是非ともご協力をお願いいたします。

集まったお金は、“きょうされん”を通して被災地に送りたいと思います。

※きょうされんでは、以下の支援機関等を通じて支援を行う予定です。

- AAR Japan（難民を助ける会）への緊急募金への協力について協議中
- その他 障害のある人等への支援活動の協力

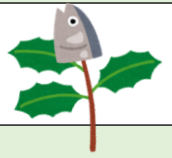
施設長 新野 浩
理事長 岩澤 六夫

ひのき工房では2月13日から募金活動を行っており、すでに多くの利用者さんから気持ちのこもった募金をお預かりしています。ご協力いただいた皆さんありがとうございます。14年前の施設建設の際は、多くの方のご寄付等のご支援をいただき、本当に助けていただきました。「困ったときはお互い様」という気持ちで、今度は私たちが困っている人に少しでもお返しをしていきたいという思いで募金活動を行っています。

トルコは、日本で東日本大震災が発生した時に、地震の恐怖から逃げられるように避難先を提供してくれた国です。今回トルコ・シリアで発生した地震は、東日本大震災の時の揺れに匹敵する強さで、今、その後の支援を必要としている人が多くいます。3月13日（月）まで、募金を受け付けています。皆さんのできる範囲でかまいません。ご協力をお願いいたします。



えほうまき ねが 恵方巻に願いをこめて



2月3日金曜日、ミニストップのオーナー様より恵方巻60本をいただきました。ひのき工房からは、奥さん、小笠原さん、山賀さんの3名が代表して受け取りに行ってきました！1本まるまるの大きさと、皆さんとても美味しそうに食べていました！



「とても美味しかったです。」
「普段はご飯の量は少なめだけど、一本食べられました！」
「いろいろな臭が入っていました。美味しかったです！」



「今年は南南西、ひのき工房の食堂からだと後ろを向く形だから難しかったけど、ちょっと後ろを向いて食べたよ！」
「大きくておなかいっぱいになりました。ごちそうさまです」



ミニストップの塩野オーナー様、従業員の皆様、ありがとうございました！
利用者さん、職員と美味しくいただき、今年も嬉しく楽しい節分となりました！

「ふれあいコンサート」に出店してきました！

1月22日JCOMホールで3年ぶりに「ふれあいコンサート」が開催されました。ひのき工房は木工品とお菓子の販売を行ってきました。ひのき工房と同じような福祉作業所さんが集まる販売は久しぶりで、どんな商品があるのか、どのような作業をしているのか、と勉強の機会にもなりました。

舞台では、高校の吹奏楽部さんの発表や各施設のアピールタイムもあり、中でも「ハンドベル」の演奏では音の乱れもない演奏に観客の皆さんからも歓声が上がっていました！

【今回の売り上げ】

木工品	70,500円
お菓子	20,810円
合計	91,310円



でした！

次回のイベント販売は4月29日

「スマイルフェス」に出店予定です！

皆さんのお便りコーナー！

2月6日から2月20日までの12日間、和泉短期大学の学生さん3名が実習に入っていました。皆さんからメッセージをいただいたのでご紹介します！

井上 瑠衣さん

約2週間実習に入り、最初はとても緊張していたのですが、利用者さん、職員の方もすごく優しくとても楽しく過ごすことができました。13日間本当にありがとうございました。

遠藤 亜子さん

2週間ありがとうございました。とても楽しい2週間を過ごすことができました。また遊びに来ます！

尾形 朱音さん

約2週間ありがとうございました。色々なお話が出来て楽しかったです！また遊びに来ます！



お話、お便り
お待ちしております！

皆さん、
お疲れ様でした！





「# 7119」ってどんな番号？



現在、救急車の出動件数は過去最高になっているのを皆さんご存知ですか？コロナにかかり自力で病院に行けない、悪化してしまったという相談も、出動件数が増えた理由の1つと言えます。

記憶に新しいニュースでは、休みなしで17時間連続出動の救急隊員の運転する救急車が、居眠り運転で交通事故を起こしたというニュースにショックを受けた人も多くいたと思います。

今回は、皆さんに救急安心センター『# 7119』のお話をしたいと思います。

皆さんは急なケガや病気をしたとき、救急車を呼んでいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷う経験をした事はありませんか？お医者さんには一人ではいけないけど、こんな痛みで救急車を呼んでもいいのかな、我慢できるかもしれない…。思い当たる方もいると思います。

そんな時に、専門家からのアドバイスを受けることができる電話相談窓口が、救急安心センター事業『# 7119』です。

地域ごとに定められた電話番号もあり、多摩地域は042-521-2323に電話することで、救急相談を受けることができます。

『# 7119』に寄せられた相談は、医師・看護師・トレーニングを受けた相談員が電話口で傷病者の現状を聞き取り「緊急性のある症状なのか」や「すぐに病院を受診する必要性があるか」等を判断します。相談内容から緊急性が高いと判断された場合は、迅速な緊急出動につなぎ、緊急性が高くないと判断された場合は受診可能な医療機関や受診のタイミングについてアドバイスを行ってくれます。

「体調が悪いけど、どこの病院に行ったらいいか」といった相談に対しても受診可能な医療機関を紹介します。

「なんとなく様子がおかしいけど、こんな状況で救急車を呼んでいいのかしら？」「救急車を呼んだら、近所の噂になっちゃう」などの心情で要請が遅くなってしまふことで助かる確率も下がってしまいます。見えない重症者を発見する為にも、ためらわず、誰かに相談出来る場所を知っておくことはとても大切なことです。

私も母親の事で利用しましたが、とても良い対応を受けました。

皆さんも、体のことで我慢するのではなく「相談」できるところの1つとして『# 7119』という番号を覚えて上手に活用をしていきましょう！（長塚）